

SBT 認証取得

【SBTとは】

Science Based Targets (科学的根拠に基づく目標) の頭文字を取ったもので、パリ協定が求める水準と整合した5~15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス(GHG)排出削減目標。※GHGのうちCO2がほとんどを占める。

【スコープ1・2・3とは】

スコープ1・・・事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

スコープ2・・・他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出

スコープ3・・・スコープ1・2以外の間接排出

【ハウテックの脱炭素社会に向けた基本的な考え】

・中小企業向けSBT認証に向け削減目標を掲げ、具体的な削減に向けた

取り組みを提案、実施する。目標レベルは1.5℃とする。

(SBT認証については右表参照)

・サプライチェーン全体から排出されるCO2を把握し、その中で削減すべき対象を明確にした上でより効率的な削減活動につなげる。



	中小企業向けSBT	通常のSBT
対象	以下を満たす企業 ・従業員500人未満・非子会社・独立系企業	特になし
目標年	2030年	公式申請年から、 5年以上先、15年以内の任意年
基準年	2018年	最新のデータが得られる年での設定を推奨
削減対象範囲	Scope1,2排出量	Scope1,2,3排出量 但し、Scope3がScope1~3の合計の40%を超えない場合には、Scope3目標設定の必要は無し
目標レベル	以下の2つのオプションから選択 ■ Well below 2℃ Scope1,2を30%削減、Scope3を算定・削減 ■ 1.5℃ Scope1,2を50%削減、Scope3を算定・削減	下記水準を超える削減目標を任意に設定 ■ Well below 2℃ (必須) 少なくとも年2.5%削減 ■ 1.5℃ (推奨) 少なくとも年4.2%削減
費用	1回USD1,000(外税)	目標妥当性確認サービスはUSD4,950(外税) (最大2回の目標評価を受けられる) 以降の目標再提出は、1回USD2,490(外税)
承認までのプロセス	目標提出後、自動的に承認され、SBTi Webサイトに掲載	目標提出後、事務局による審査(最大30営業日)が行われる 事務局からの質問が送られる場合もある

・2022年4月にSBT(SME)の認証を取得しました。

国内では181番目の取得となります。

SBT公式プラットフォーム→ <https://sciencebasedtargets.org/>

当社は前述の諸活動を継続しつつ、化石燃料由来のエネルギー使用量を削減していくことで社会的責任を果たします。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION